

# CO・OP REPORT

Vol.146



三重県桑名市にある「ガーデン大山田」で毎週行われている、桑名いきいき体操の様子（関連記事はP7を参照）。



アジア生協協力基金による一般公募助成企画として実施された、農業経営セミナーの様子（関連記事はP6を参照）。

P2 特集

## 日本生協連 第67回通常総会を開催

P5 生協・地域貢献レポート

### 視覚障がい者のための「声の商品案内」（いわて生協）

P6 CO・OP国際活動情報

### アジア生協協力基金による一般公募助成企画

P7 事業種別生協のご紹介

### 医療福祉生協

P7 トピックス

### 「CO・OP商品実感フェスタ」を開催

P8 生協ミニ知識

### SDGsと生協①



# 日本生協連 第67回通常総会を開催

日本生協連は2017年6月16日、  
東京都内で第67回通常総会を開催。  
年度のまとめと方針などの5議案を賛成多数で可決し、  
新役員を選任しました。



開会のあいさつをする浅田克己代表理事会長(当時)

## 全議案を 賛成多数で可決

日本生協連は、2017年  
6月16日、東京都内で第67回  
通常総会を開催しました。

総会代議員定数656名  
に対し、656名(委任出  
席・書面出席含む)が出席し、  
2020年ビジョン第2期中期

方針(2017~19年度版)、  
2016年度事業報告・決算、  
2017年度事業計画・予算  
などの全議案を賛成多数で可  
決しました。

開会にあたり、日本生協連  
浅田克己代表理事会長(当  
時)は、東日本大震災や、熊  
本地震、台風などの自然災害  
の発災時、全国の生協がいち  
早く支援に立ち上がり、また  
被災地に寄り添った心温まる  
支援を継続していることに対し  
て、感謝の言葉を述べました。  
また、貧困と格差の拡大が、  
くらしの深刻な問題となるな  
か、全国の生協で「地域見守  
り協定」の締結が自治体など  
との間で進み、さらに食育や子  
育て、環境保全など、さまざま  
な分野を含めた包括的な連  
携協定へ発展する事例が広がっ  
ていることに触れ、誰もが安心



厚生労働省 社会・援護局 局長 定塚由美子様

してくらせる社会を目指して、  
これからも一緒に助け合いの活  
動を進めていくことを呼びかけ  
ました。

来賓あいさつでは、厚生労働  
省 社会・援護局 局長 定塚由  
美子様から塩崎恭久 厚生労  
働大臣の祝辞として、「人口減  
少、家族や地域社会の変容に  
よって、さまざまな課題が生じ  
ているなか、厚生労働省では、



日本協同組合連絡協議会 委員長 奥野長衛様

地域・くらし・生きがいを共に  
つくり高め合う、地域共生社  
会の実現を目指している。人  
と人とのつながりによる助け合  
いを基本とする生協には、地  
域社会に無くてはならない組  
織として、活躍を期待すると  
ともに、協力を期待したい」と  
の言葉をいただきました。

また、日本協同組合連絡協  
議会 委員長 奥野長衛様(全



国農業協同組合中央会（会長）からは、「近年、社会的弱者をめぐる問題は深刻さを増しているが、誰も取り残されない社会を実現するため、生協をはじめ、さまざまな協同組合が

力を合わせ、より深く広く取り組みを進めていきたい」との言葉をいただきました。さらに、国際協同組合同盟（ICA\*）モニク・ルルー会長をはじめ、多くの方々からメツ



議案を提案する嶋田 裕之代表理事専務

そのほか、ヒバクシヤ国際署名や沖縄戦跡・基地めぐりなどの平和を守る活動や、子育て支援の取り組み、奨学金制度の改善に向けた取り組み、

セーじや祝電をいただきました。 **復興支援や安心してくらせる地域社会づくりへの取り組みなどについて討論**

議案提案後の全体討論では、17名の代議員から発言がありました。被災地域の生協の代議員から、全国からの支援に対するお礼と、復興への取り組み報告、課題について発言がありました。

また、本年は役員改選期のため、39名の理事と6名の監事が選任され、新しい代表理事会長に本田英一が選任されました。2011年から6年間にわたり代表理事会長を務めた浅田克己は、今総会をもって退任し、顧問に就任しました。

さらには、商品に対する組合員の声をメーカー・生産者に届け、使う人をつくる人をつなぐ取り組みや、電気・ガスのエネルギー関連事業の取り組み、事業と経営の強化に向けた報告など、幅広いテーマで活発な議論が行われました。



全体討論の様子



# 日本生協連 新役員体制

## 日本生協連 理事・監事(任期2017年6月～2019年6月)

代表理事会長	本田 英一	日本生協連	
副会長	新井 ちとせ	コープみらい 理事長	
代表理事専務	嶋田 裕之	日本生協連	
専務理事	和田 寿昭	日本生協連	
常任理事	大見 英明	コープさっぽろ 理事長	
	宮本 弘	みやぎ生協 理事長	
	土屋 敏夫	コープデリ連合会 理事長	
	石田 敦史	パルシステム連合会 理事長	
	當具 伸一	ユーコープ 理事長	
	夏目 有人	コープあいち 理事長	
	勝山 暢夫*	大阪いずみ市民生協 理事長	
	木田 克也*	コープこうべ 組合長理事	
	小泉 信司	コープ中国四国事業連合 理事長	
	江藤 淳一*	コープ九州事業連合 理事長	
	山本 哲夫	トヨタ生協 理事長	
	萩原 多加資	コープ共済連 専務理事	
常務理事	山本 克哉	日本生協連	
	藤井 喜継	日本生協連	
理事	白波瀬 佐和子	東京大学大学院人文社会系研究科 教授	
	村木 厚子*	津田塾大学 客員教授	
	内澤 祥子	いわて生協 副理事長	
	羽田 幸子*	いばらきコープ 理事	
	熊崎 伸	コープみらい 専務理事	
	小倉 和子	コープみらい 理事	
	庭野 吉也	東都生協 理事長	
	竹内 誠*	東京都生協連 会長理事	
	加藤 好一	生活クラブ連合会 会長理事	
	角本 貴子*	ユーコープ 理事	
	畑 忠男	京都生協 理事長	
	柴田 弘美*	京都生協 副理事長	
	伴 智代*	コープこうべ 理事	
	福浪 美紀*	コープやまぐち 理事	
	美濃 欽也*	コープえひめ 専務理事	
	佐藤 智重*	エフコープ 理事	
	松蘭 孝夫	コープかごしま 理事長	
	難波 隆宏*	広島県学校生協 専務理事	
	崎田 弘*	全労済 専務理事	
	毎田 伸一	全国大学生協連 専務理事	
	東久保 浩喜	医療福祉生協連 専務理事	
	常勤監事	福島 裕記	日本生協連
	監事	岡田 憲治	日本監査役協会監事 税理士
		柳瀬 康治	丸の内中央法律事務所 弁護士
小池 伸二*		コープあおもり 理事長	
平田 昌三		おかやまコープ 理事長	
亀田 高秀		コープみやざき 理事長	

\*は今期新たに選任された役員です。

## 代表理事会長就任のごあいさつ



日本生活協同組合連合会  
代表理事会長 本田 英一

私は、このたびの第67回通常総会において、日本生協連 代表理事会長に選任されました。

43年間在籍したコープこうべの組合長理事を退任し、これまで副会長を務めておりました日本生協連で、新たに代表理事会長として専念してまいります。日本生協連および前代表理事会長 浅田克己にお寄せいただきましたご支援・ご協力を引き続き賜いますよう、何とぞよろしくお願い申し上げます。

今日の日本の社会には、格差や貧困の拡大、少子高齢化など、困難な課題が山積しています。生協は「助け合いの組織」として地域や社会の課題に向き合い、事業・活動を通じてくらしのニーズや願いを実現してきました。これからも行政や諸団体の皆さまと協力しながら、社会的課題の解決に取り組んでまいり所存でございます。

現在、全国の生協には、2,800万人にのぼる組合員にご加入いただいております。生協の2020年ビジョンに掲げた「人と人がつながり、笑顔があふれ、信頼が広がる新しい社会の実現」を、全国の生協・組合員とともに目指してまいります。

従来に増してのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。就任にあたってのごあいさつとさせていただきます。

いわて生協

# 視覚障がい者のために 「声の商品案内」をお届け

## 「声の商品案内」で 普段のくらしを支える

全国の生協は、さまざまな事業や活動を通して、誰もが安心して暮らせる地域社会づくりに取り組んでいます。毎週発行さ

れる宅配の商品カタログを読み上げてCDやテープなどに録音し、視覚障がいのある組合員にお届けする「リーディングサービス」もその一つで、多くの生協が取り組んでいます。

いわて生協では、視覚障がいのある方から



カタログを読み上げ中。読む係とチェック係を交互に担当しながら録音します。

いのある方からの「買い物」としては大変。大阪の生協でやっているそうだが、盛岡でもできないだろうか」という要望に応え、1987年からボランティア活動として始まりました。最初は数人だった利用者が、利用者同士のつながりから、現在は46人に広がっています。収録する商品数は240品目から1,200品目以上に増え、当初

は45分程度の録音だった「声の商品案内」は、現在は約4時間となっています。

商品数が増えると同時に制作体制づくりが必要となり、組合員による「くらしの助け合い」の活動を発展させる形で設立された「ワーカーズ・コープくらしいきいき応援隊」に、カタログの読み上げ、編集、共同購入センターへの発送までを委託しています。

## 目の不自由な方が 買い物を楽しめるように

読み上げの基本は、商品番号、商品名、規格、価格ですが、商品によっては容器の質や形状についても説明します。例えば、みそはビール入りなのか、プラスチックカップ入りなのか、カタログに写真で示されている情報を補足しながら読み上げています。以前は料理のレシピを読み上げていませんでしたが、視覚障がいの方々も日常的に料理されてい



CDは専用の再生機で聞きます。速度が調整でき、早送りの状態で聞くことも可能。

ることを聞き、録音するようになりました。

利用者からは「声の商品案内を聞くことで、商品を眺めて買うのと同じように買い物を楽しみ、自分にとって価値あるものを選ぶことができる」などの声が寄せられています。

いわて生協では、より良いサービスを目指してこれからも取り組みを進めていきます。



# 「アジア生協協力基金」による 一般公募助成企画

## アジアの生協・協同組合の 発展を目指して

日本生協連は会員生協とともに、アジアの生協・協同組合の発展への貢献と交流や協力を目的として、1987年に「アジア生協協力基金」を設立し、人材開発や女性・青年の協同組合への参加促進などの活動を支援してきました。

2009年度からは基金の管理にあたる生協総合研究所の

公益財団法人への移行を機に助成先の幅を広げ、一般公募を始めました。助成の対象は、日本国内に拠点を持つ非営利組織がアジア・太平洋地域で支援する、協同組合および住民による協同の力で実施する事業です。

2016年度は一般公募助成企画として、7組織が農業の技術指導や生産者組合設立支援など、生活や仕事の改善を図るプロジェクトを行いました

## ミャンマーの農村での 農業支援活動

た。実施国はミャンマー、インドネシア、ベトナム、ネパール、カンボジア、インドと多岐にわたります。以下に助成企画の事例をご紹介します。

認定特定非営利活動法人地球市民の会は、2016年4月1日から2017年2月28日まで、ミャンマーで「循環型農業組合の組織に向けた農民の組織化とエンパワーメント」を実施しました。このプロジェクトは、農家が共同で農産物の生産と販売に取り組むことで、農家の収入向上と農村の生活向上を目指すものです。農家を3カ所でグループ化し、農業機材の共同利用や、農産物の共同集荷・出荷の仕組みづくりなどの支援を行いました。

共用のハンドトラクターの導入により、使いたい時に安価で借りられるようになって、支出が減るとともに、適期の作付け



ハンドトラクターによる作業の様子。



村で実施した研修の様子。実習を取り入れ、文字の読み書きが苦手な人にも分かりやすくなるように工夫しました。

が可能になりました。また、共同集荷・出荷により、販売店への出荷量と店頭で販売される農産物の種類の安定化を図ることができ、収入向上につながっています。

アジア生協協力基金は、これからもアジアの協同組合や人々の協同の活動の発展に向けて、取り組みを進めていきます。

# 医療福祉生協

日本医療福祉生活協同組合連合会（略称：医療福祉生協連）は、医療・福祉事業を行う生協の全国連合会で、2017年3月末現在、112の生協が加入しています。組合員数295万人、出資金総額838億円、75病院と343診療所、189訪問看護ステーションなどを運営しています。

## 健康づくり・つながりづくりでフレイル予防

医療福祉生協では、組合員が3人以上集まって、医師・看護師などの医療専門職と一緒に血圧・体脂肪・尿チェックなどの健康チェックを実施したり、病気の予防や健康づくりについて学ぶ班会を行っています。2016年度は2万8,000を超える班が活動しました。また、地域住民が気軽に集まることができる居場所（サロン）づくりや、子ども食堂の実践も進んでいます。

加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態など



年間1,000人以上が利用する「ガーデン大山田」で毎週金曜日に行われている桑名いきいき体操は、三重県桑名市の総合事業「通所型サービスB（住民主体による支援）」に登録されています（みえ医療福祉生協）。

の危険性が高くなった状態をフレイル（虚弱）と言います。フレイルは予防や回復が可能です。それには、「栄養」「身体活動」「社会参加」の3つの要素が必要で、とりわけ「社会参加」が大事だと言われています。医療福祉生協は、集いの場である班会や居場所をさらに広げ、健康づくり・つながりづくりでフレイル予防に貢献しています。

## 身近な困りごとの解決を通じて地域包括ケアを実現



独居男性からの相談「同年代の話し相手が欲しい」の解決のために、職員・組合員で話し合う様子（大分県医療生協）。

全国の医療福祉生協では「医療・福祉・食事・住まい・助け合い」の各事業や活動を通じて地域包括ケアの実現を目指しています。地域包括ケアは医療福祉生協単独では実現しません。地域の諸団体や自治体と連携することを何よりも大切にしながら、地域の困りごと解決につなぐことが重要です。

一人の小さな困りごとに、地域のみんで何ができるか考え、力を合わせる。つながりを広げて地域の暮らしを豊かにしていく、それが医療福祉生協の目指す地域包括ケアです。

### トピックス

## 「CO・OP商品実感フェスタ」を開催しました

日本生協連は2017年6月15日、CO・OP商品の魅力を実感・体感いただく場として「CO・OP商品実感フェスタ」を東京都内で開催し、全国から63生協365人の組合員・役員が参加しました。

会場ではCO・OP商品の紹介や試食、産地交流企画をはじめ、レインフォレスト・アライアンス認証などエシカル消費に対応したCO・OP商品の紹介、全国の生協の組合員活動の紹介などが行われ、参加者はCO・OP商品への理解や共感を深めました。また、ステージイベントでは、家庭料理研究家の奥蘭壽子さんによるライブクッキングや、「CO・OP商品でつくる毎日！かんたんレシピコンテスト」の表彰式が行われました。



CO・OP商品の試食コーナーの様子。



2015年9月、国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が全会一致で採択されました。2030アジェンダは、2016年から2030年までの国際社会共通の目標で、貧困を撲滅し、持続可能な世界を実現するために、17分野の目標・169のターゲットからなる「持続可能な開発目標」(SDGs)を掲げています。SDGsは開発途上国だけでなく、先進国も含めた全ての国が取り組む普遍的なものであり、取り組みにあたっては「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

また、2030アジェンダは、あらゆるステークホルダーが連携することを求めており、実施するセクターの役割を重視しています。そして、実施するセクターの一つとして「協同組合」も認知されています。

協同組合は、事業体を通じて共通のニーズと願



SDGsは経済・社会・環境に関わる広範な課題に、総合的に取り組むこととしている。

- ※1 Sustainable Development Goals
- ※2 1997年策定。「自立した市民の協同の力で 人間らしくらしの創造と 持続可能な社会の実現を」

いを実現するために人々が自発的に手を結んだ組織で、日本をはじめ世界各国にあります。協同組合には、農業協同組合(農協)や漁業協同組合(漁協)、労働者協同組合(労協)などがあり、生活協同組合(生協)もその一つです。日本の生協は、「生協の21世紀理念<sup>※2</sup>」として「持続可能な社会の実現」を掲げ、さまざまな取り組みを進めてきました。SDGsには、目標7(誰もが使えるクリーンなエネルギー)、目標12(持続可能な消費と生産)、目標14(海洋資源の保全)など、生協の事業・活動と強い関わりを持つ目標があり、SDGsの目標達成に向けて、生協もその一端を担いたいと考えています。

## 日本生活協同組合連合会(略称:日本生協連)組織概要

生協(生活協同組合)は、農協や漁協などと同じ協同組合の一つです。「消費生活協同組合法(略称:生協法)」に基づいて設立され、生活の向上を目指し、さまざまな事業・活動を行っています。生協は、利用者である組合員自身が出資し、意思決定や運営に参画する組織です。

日本生協連は、生協法に基づく生協の全国連合会で、右のような事業と活動を行っています。

代表理事会長 本田 英一  
 会員数 322会員(2016年度末)  
 供給高 3,716億円(2016年度)  
 全国の組合員数 2,872万人(2016年度末)  
 会員生協の総事業高 約3.4兆円(2016年度)  
 創立 1951年3月20日  
 [URL] <http://jccu.coop/>

### ■主な事業と活動

1. 会員生協への商品供給などに関わる事業
  - ① コープ商品などの開発と供給
  - ② 通販事業
  - ③ 商品事業に関わる品質管理、物流・情報システムなど事業基盤の開発や運用 など
2. 生協の全国組織としての取り組み
  - ① 生協の全国的な事業・活動方針策定
  - ② 国内・国外の各種協同組合・諸団体・行政などとの連絡・調整
  - ③ 「食」「環境」「福祉」「消費者問題」など生活に関わる社会的テーマについての意見発信や取り組み など
3. 会員生協への支援の取り組み
  - ① 会員生協間の連絡・調整・交流
  - ② 会員生協の宅配・店舗・福祉などの事業や、環境保全・くらしの助け合いなどの組合員活動への支援
  - ③ 会員生協の組織運営・法令順守の支援 など